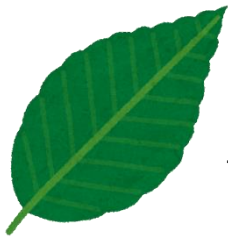
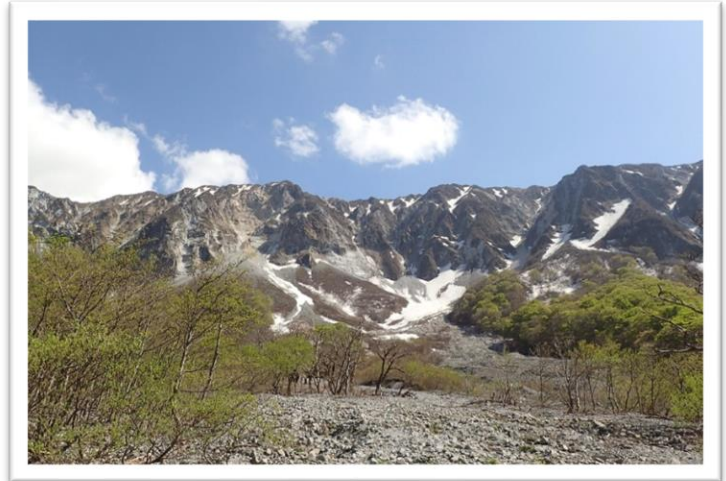


大山の森だより

2023年春号

大山の春の音

冬の間、雪で覆われていた大山北壁に灰色の岩肌が見えるようになる4月ごろ、大山 NPC がある大山寺集落では、時おりガラガラという地響きが聞こえることがあります。これは大山の岩が大規模に崩落した時の音です。春先の崩落は日中に融けた雪解け水が岩の隙間にしみ込み、夜間の気温の低下によって氷結して膨張することで起きる現象です。毎年、大山では数百トンの岩が崩落しているそうです。大山山頂の雪が消え、山麓が青葉で輝く季節になると大山の岩の崩落は収まります。



ブナの葉

岩の崩落の地響きは大山の春の音でもあります。春先、北壁がよく見渡せる元谷ではひっきりなしに岩が落下する音が聞こえます。大山の春の音を聞きに来ませんか。

注：崩落している岩壁に近づくのは危険なのでご注意ください。

冬期 自然ふれあい事業 活動報告

○幻の御旅所？から絶景を見るスノーシューツアー

開催日：2月4日



大山寺の古地図に御幸御旅所址と記される謎の台地を目指して雪山を歩きました。残念ながら天候が悪く絶景は望めませんでしたが、積雪期以外は行くのが困難な聖地に行けたことを参加者は喜んでいました。

○スノーシューで行く 願掛け地藏へ願いを込めに

開催日：2月25日



大山寺聖域の入り口「金門」で、願いを込めた雪玉をつくり、願い岩（地藏）に奉納するスノーシューツアー。無雪期には入れない寺院跡や谷を尻滑りしながら移動しました。皆さんの願いが叶いますように。

※1月14日の「スノーシューで行く大山・幻の滝」は悪天候のため中止となりました。

■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。裏面にイベント情報を掲載しています。

○大山のキツツキ



春になると大山の森ではキツツキがくちばしで木をたたき音が響き渡るようになります。これはキツツキのオスが求愛や縄張りをアピールするドラミングという行為です。キツツキ類は他の鳥のように特定のさえずりを持っていません。その代わりに、枯れ木などを高速でつついて音を出すのです。もちろん木の中にいる虫をつつきだすときにもくちばしで穴をあけますが、ドラミングほど大きな音をたてません。このドラミングは早春から秋にかけて聞くことができますが、繁殖期の春がもっともよく聞こえます。

キツツキが木に穴を掘るのは巣を作るためのこともあります。キツツキ類は天敵に場所を覚えられるのを避けるため、毎年新しい巣穴を掘るといわれています。その使わなくなった古巣をシジュウカラ等の小鳥や小型哺乳類が、さらに木の腐食が進んでうろになるとフクロウ類などが利用します。キツツキ類は樹洞の生産者として、これらの生き物に住みかを提供する森林生態系の中でも重要な位置を占めているのです。

大山には4種類のキツツキの仲間が生息しています。※イラストはすべてオス。メスは頭に赤色が少ないかありません。

	<p>コゲラ: もっともふつうに見かけるスズメサイズの小型のキツツキ。幹の周りを軽快に動きまわり、小気味良いドラミングを響かせます。山の中でギー、ギーと鳴いている鳥がいたらコゲラです。</p>
	<p>アオゲラ: モスグリーンの体色と頭の赤い羽根が目立つハトより少し小さいサイズのキツツキです。キョツ、キョツという鳴き声の他に、繁殖期にはピョー、ピョーという甲高い鳴き声も出します。この鳴き声は交差点の音響信号機に使われています。反対側の音にはカッコウの鳴き声が使われています。</p>
	<p>アカゲラ: 下腹部の赤い羽根が目立つ中型のキツツキです。アオゲラより一回り小さめで、オスは後頭部も赤くて目立ちます。キョツ、キョツと鳴きます。</p> <p>○キツツキが穴をあけたり皮をはいたりするのは多くは虫におかされた木で、健全な木をつつきまわることほとんどありません。</p>
	<p>オオアカゲラ: アカゲラによく似たアオゲラと同じサイズのキツツキです。下腹部の赤が薄く、雄雌とも後頭部に赤い羽根があります。あまり多く生息していません。キョツ、キョツと鳴きます。</p> <p>○キツツキの食べ物は昆虫類の幼虫が多いですが、秋冬には木の実も食べています。餌の多い夏季は葉についた虫を捕らえることも。</p>

※鳥のイラストはすべて「鳥好きの部屋」HPからお借りました。

【キツツキに似た鳥】

木の幹を素早く移動する青灰色の小鳥は**ゴジュウカラ**(図⇒)です。キツツキの仲間ではないのでくちばしで木に穴を開けることはできませんが、器用に木の表面や皮の下にいる虫を食べます。垂直な幹に下向きに止まれる唯一の鳥で、フィー、フィー、フィーと鳴きます。ゴジュウカラより一回り小さく、木の幹をらせん状に登っていく茶色い鳥は**キバシリ**です。



ゴジュウカラ

古代日本の占いの鳥「ホオジロ」

春から夏にかけて、見晴らしのいい木のとっぺんで、胸を張って澄んだ声で鳴いている小鳥がホオジロです。

大山のような山地だけでなく、平地でも普通に見られます。森の中よりも開けた場所に多い小鳥です。

全身は赤茶色で、雄は顔に黒い隈取があり、頬の部分が白いことが、ホオジロの名前の由来です。澄んだ鳴き声にはいろいろな聞きなしがあり、「一筆啓上つかまつりそろろう」や「源平つつじ白つつじ」がよく知られています。留鳥なので年中見ることができますが、雄のさえずりが聞けるのは4月から7月の繁殖期です。

ホオジロやその仲間であるホオアカ・アオジ・クロジなどの小鳥は、古くは鶉(しとど)と呼ばれていました。アオジ・クロジは、アオシトド・クロシトドが変化したものです。

ミコドリとも呼ばれ、巫鳥と書く場合もあります(一文字では鶉)。これは昔、巫女がこの鳥の動作をみて占ったことによるものだそうです。占いの詳細は不明ですが、古代ローマの公的占い役人「鳥占官」は、複雑な方式に従い鳥の飛翔や鳴声、戦場では餌をついばむ鶉などを観察して神意を探ったそうです。古代の日本でどのような鳥占いがされたのか興味深いです。

※ホオジロの写真はウェブサイトからお借りました。



コラム1: 大山伝説の鳥「金剛鳥」

神社の神門のことを鳥居と呼びますが、実際に神意を伝える鳥の止まり木だったという説があります。14世紀半ばに編纂された大山寺縁起には、現在、金門と呼ばれる大きな巖の門が開かれたときに、天界より金剛鳥が飛んできて仏の徳を讃えたと書かれています。1398年に完成した大山寺縁起絵巻には、金門の扁額の横にとまる金剛鳥が描かれています。これは極楽浄土に住むカリョウビンガという想像上の生き物の姿です。かつて金門の入り口付近に金剛童子社という大きな社があり、そこに祀られた金剛童子が金剛鳥とのこと。金剛童子とは仏教を守護する少年の姿をした神(護法神)で、金剛とはダイヤモンドのことです。



大山寺絵巻より一部抜粋

コラム2: 鳥取の妖怪「呼子」と「呼子鳥」



カケス

鳥取県の山には、「呼子(よぶこ)」、または「呼子鳥」とも呼ばれる、人の声を真似する鳥型の妖怪がいました。正体は人の声を真似することがあるカケス(図👉)のことではないかと個人的に思うのですが、どうでしょう? 本当に妖怪がいたのでしょうか。さて日本にはかつて本当に呼子鳥と呼ばれた鳥があり、奈良時代の歌集「万葉集」には呼子鳥を詠んだ歌が9首掲載されています。しかし今ではどの鳥を呼子鳥と呼んだのかわからなくなっています。



ホトギス

呼子鳥の季語は晩春。昔の人は呼子鳥の鳴き声を恋しい人を呼ぶ声と聴いたようです。カウコウ説が有力ですが、他にもウグイス・ホトギス・ツツドリなどの説があります。鳴きながら飛ぶ。夜も鳴くという表現があることから、私はホトギス(図👉)の別名ではないかと思えます。ホトギスの歌は万葉集に153首もあり、恋しい人を想う歌が多く、呼子鳥の歌に似ています。

ーイベント情報（4月～7月）ー



■自然公園財団のイベント

<p>○大山寺 金門周辺の知られざる遺跡を巡る 開催日：4月23日(日) 9:00～12:00頃 会場：金門周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円</p>	<p>かつて巨大な扁額が掲げられた金門周辺には忘れ去られた遺跡が点在します。風穴と呼ばれた巨大な氷室の底に下りたり、御旅所跡と思われる高台の平坦地から美保湾を見下ろします。尾根上の求聞持堂跡にも。 定員：15名 歴史探訪</p>
<p>○西明院谷 オルガニート演奏と春の花観察会 開催日：5月20日(土) 9:00～12:00頃 会場：阿弥陀堂周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円</p>	<p>木々の青葉が美しい5月。大山の森で咲く花々を、花言葉を頼りに探してみましょ。花言葉から花と人のかかわりを、また花の色や形から花と虫のかかわりを探ります。春の花々がたくさん見れますよ。 定員：15名 自然観察 癒しの体験</p>
<p>○榎水高原 旅するチョウ「アサギマダラ」観察会 開催日：6月10日(土) 9:00～12:00頃 会場：伯耆町 榎水高原 集合場所：ますみず天空リフト下 駐車場 参加費：1500円 雨天：虫よけオニヤンマとブローチ・アサギマダラ作り</p>	<p>榎水高原の森は旅する蝶「アサギマダラ」の群れが観察できる知られざる名所。足元から大型の青い蝶がフワフワと舞い立つ様は圧巻です。アサギマダラの追跡調査のためにマーキングして放蝶します。 ※雨天時のイベントは大山 NPC 内で開催します。 定員15名 自然観察</p>
<p>○南光河原 水生生物(カジカガエル)観察会 開催日：7月1日(土) 9:00～12:00頃 会場：南光河原周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円</p>	<p>涼やかな鳴き声が初夏の南光河原で聞こえます。カジカガエルはなかなか姿を見るのが難しいカエルですが、声を頼りに探してみましょ。オタマジャクシは見つかりますよ。川の中も探してみましょ。 定員：15名 自然観察</p>



■大山周辺キャンプ場情報■

【大山周辺のキャンプ場】 ※有料
 ○森の国 いこいの森キャンプ場(大山町赤松)
 ○夕陽の丘 山香荘 神田キャンプ場(大山町加茂)
 ○FBI DAISEN-First class Backpackers Inn.(伯耆町小林)
 ○DACG 大山オートキャンプ場(伯耆町福兼)
 ○休暇村奥大山 鏡ヶ成キャンプ場(江府町御机鏡ヶ成)
 ※詳細は各キャンプ場へ直接お問い合わせください。

大山寺にある2つのキャンプ場はまだ工事中です。

- 下山キャンプ場：2024年春以降にオープン予定
- 豪円山キャンプ場：2023年春以降にオープン予定

※上記キャンプ場に関するお問い合わせは、環境省 大山隠岐国立公園管理事務所(TEL 0859-34-9331)まで

一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33
 大山ナショナルパークセンター(大山 NPC) 1階
 TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370

URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

